

# 第33回 測量の日



「測量の日」キャラクター マッピーくん

# 測量の日 6月3日

## 私たちの安全・安心のために 国土を測る



「測量の日」は、測量法が公布された1949年6月3日から40年を迎えたのを記念して制定された。例年、測量の日を中心に国民生活に必要な可欠な測量の意義・重要性などの理解を深める活動を各地で実施してきたが、今年は昨年引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、人を集めるイベントは中止されるものが多い。オンライン形式による技術報告会などが行われる予定だ。

国土交通省 国土地理院  
院長 野田 勝



測量の日は、測量法が1949(昭和24)年6月3日に公布されてから1989(平成元)年で40年を迎えたことを機に、測量と地図の役割と重要性について多くの皆さまに理解を深めていただくことを目的として当時の建設省(現国土交通省)により制定され、今年で33回目を迎えました。

国土のどこに何があるかを正確に測って明らかにすることは、国が存立する上で欠くことのない国の責務です。国土地理院では、位置の基準を定める「測る」、国土の地図を作る「描く」、日本の国土を守る「守る」、防災意識社会に向けた「伝える」の四つのテーマで施策を推進しています。

令和の時代を迎え、国土地理院ではさまざまな課題にも取り組んでいます。インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション(DX)では、デジタルデータで現実空間を再現し、インフラや建設機械などの場所を位置情報で表現・共有することが必要ですが、地面は地殻変動により動き続けているため、複数の位置情報を扱う際には共通ルール(位置の基準)に準拠させる必要があります。国土地理院では、位置情報を「国家座標」と呼ばれる唯一の公的な位置の基準に準拠させ、データの流通・活用の促進、建設プロセスの効率化を図るため、「定常時地殻変動補正システム」の提供、民間等電子基準点の登録制度の運用開始などの取り組みを行いました。

### 位置情報共有し建設プロセスを効率化 防災意識向上へ地理教育を継続支援

また、国土地理院は災害対策基本法に基づく指定行政機関です。災害時には、測量・地図分野の最新技術を活用して救助活動や復旧・復興に役立つ地理空間情報を整備・提供しています。令和2年7月豪雨では、広範な地域で発生した河川の氾濫に対し、現地での迅速な救助活動や排水計画に役立てるため、SNSや空中写真等のさまざまな情報から浸水範囲の端の地点を確認し、標高データを用いて「浸水推定図」を作成して提供しました。

さらに、2022(令和4)年度から高校で「地理総合」が必修科目となります。住民一人一人が地域の災害リスクを理解し、防災意識を高めるためには、地理教育を通して国土の有様を理解する能力を身に付けることが重要です。国土地理院では、地図など地理の授業で活用できるコンテンツを集めた「地理教育の道具箱」を公開しました。教科書・教材出版社を対象とした説明会も開催しており、引き続き地理教育を支援していきます。

国土地理院は、今後も国家測量機関として、社会のニーズや技術を踏まえ、土地の測量および地図の調製に関する施策を通じて、地理空間情報の活用を推進し、国民生活の向上および国民経済の健全な発展に貢献してまいります。皆さまには、格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 暮らしの安全を支える地図

地図は、行政における各種計画、防災・減災対策、教育、レジャーなど、多方面で広く活用され、私たちの暮らしに欠かせないものです。

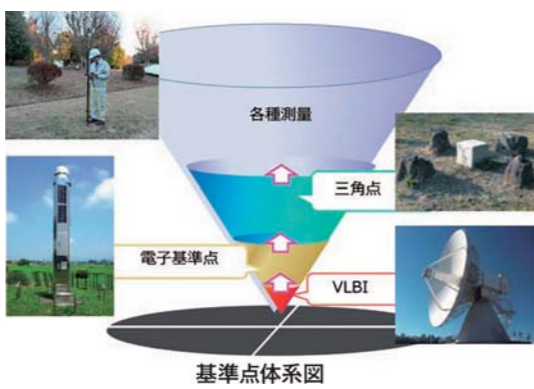


## 国土交通省・「測量の日」実行委員会

## 測量は暮らしのさまざまな場面で重要な役目を果たしています

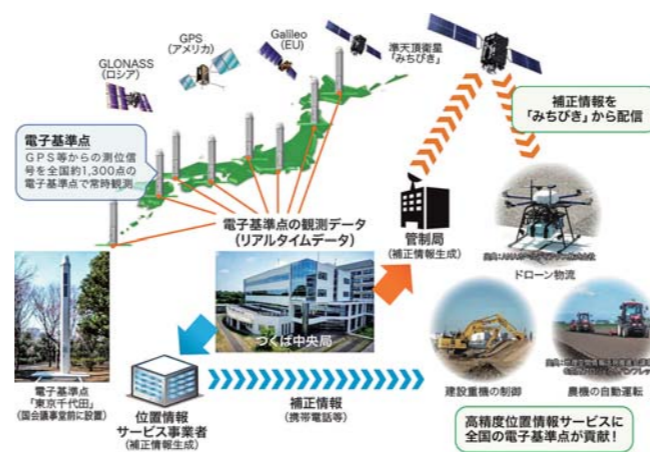
### 国際的基準に基づく国土位置を定める取り組み

位置情報(緯度・経度・高さ)を正確に定めることは、国土の管理・保全のほか、私たちの経済活動を円滑に行うために必要なことです。宇宙のかなたにある天体から届く電波を使用したVLBI(超長基線電波干渉法)観測、GPS等の人工衛星からの信号を使用した電子基準点、全国各地に設置している三角点の位置を決定しています。地球上における日本の位置を正確に定めることにより、国土の明示・管理・保全に必要な不可欠な基礎情報を維持・管理し提供しています。



### 電子基準点による位置情報サービスの支援

電子基準点の観測データは測位信号の誤差を取り除く補正情報生成に利用されています。この補正情報を利用するとリアルタイムでセンチメートル級の位置を決定することができます。補正情報は測量・建設・農業などさまざまな分野で利用され、作業の効率化に貢献しています。



### Webで閲覧できる地理院地図

地理院地図は、国土地理院の整備する各種地理空間情報(道路や鉄道など最新状況が反映される電子国土基本図)の他、空中写真、標高、地形分類、災害情報などを閲覧出来るウェブ地図です。災害の備えとなる防災地理情報も提供しています。

Webで閲覧できる地理院地図. Includes a QR code and a list of features: (1) Latest road and railway information, (2) Topography and disaster information, (3) High-resolution aerial photos, (4) Elevation and terrain classification, (5) 3D viewing.

### 主唱 国土交通省

推進団体 「測量の日」実行委員会

一般財団法人 日本地図センター  
理事長 稲葉 和雄  
〒153-8522 東京都目黒区青葉台4-9-6 電話03(3485)5411

公益社団法人 日本測量協会  
会長 清水 英範  
〒112-0002 東京都文京区小石川1-5-1(パークコート文京小石川)5階 電話03(3815)5751

一般社団法人 地図調製技術協会  
会長 稲垣 秀夫  
〒112-0002 東京都文京区小石川1-5-1(パークコート文京小石川)5階 電話03(3815)9110

一般社団法人 地図協会  
理事長 安藤 保隆  
〒153-8522 東京都目黒区青葉台4-9-6(一附)日本地図センター内 電話03(6416)8383

一般財団法人 測量専門教育センター  
会長 上條 勝也  
〒305-0001 茨城県つくば市栗原字山尻3514-20 電話029(875)4217

一般社団法人 全国測量設計業協会連合会  
会長 方波 見正  
〒162-0801 東京都新宿区山吹町11-1(測量年金会館) 電話03(3235)7271

公益財団法人 日本測量調査技術協会  
会長 岡部 篤行  
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-40-11(春山ビル6階) 電話03(3362)6840